

第3 土石採取事業に係る土地利用計画書の作成要領

1 計画

- (1) 採取の目的
- (2) 既定計画又は将来計画との関連
- (3) 県内における既実施事業

2 採取地

区 分		公簿面積		実測面積		筆 数	権利者数
		面 積	うち公有地	面 積	割 合		
宅 地		m ²	m ²	m ²	%		
農 地	田						
	畑						
	その他						
	小 計						
山林							
原野							
公共公益用地							
その他()							
計							

(注)1 農地欄のその他には、採草放牧地を記入すること。

2 地番毎の取得状況を一覧にした土地取得調書(別紙1)を添付すること。

3 計画地内に公有地がある場合は、取得対象の公有地に関する調書(別紙2)を作成し、添付すること。

3 採取地の現況

第1の2(4)、3(2)(3)によりそれぞれ説明すること。ただし、第1の3(3)の開発率については掘削面積を記入のこと。

4 土地利用規制現況

第1の2(5)によること。

5 粒度分析の結果

6 採取量及び採取期間

7 採取方法(採取の態様・採取する高さ又は深さ)

8 採取施設

(1) 機械の種類・能力・台数

(2) その他の施設

9 作業時間・作業人員

10 防災・排水計画

第1の4(1)(7)によること。

11 土石等の搬出

(1) 搬出方法

(2) 搬出量

・1日当たり搬出量

・1日当たり搬出台数

・搬出時間

(3) 搬出経路

・搬出する道路の名称・幅員・利用延長

・道路管理者との協議状況

(4) 搬出先

所在地・面積・搬出土量・協議状況

12 関連する公共施設等の事業者による整備計画

施設区分	施設の名称	整備計画
道路		
水路・河川	(雨水の放流先)	
その他		

13 文化財保護計画

第1の8によること。

14 公害防止対策・安全対策

第1の6によること。

骨材、選別からの汚泥の処理方法と対策等についても記入のこと。

15 環境保全対策

(1) 自然環境の現況

ア 植生状況

計画地及びその周辺における植生状況を群集及び群集レベルの群落により現存植生図を作成し説明すること。

イ 野生動物状況

計画地及びその周辺における野生動物状況を生息地、繁殖地、渡来地について説明すること。

ウ 静岡県自然環境保全条例に基づく自然環境保全協定締結等の実施状況

計画地及びその周辺における「静岡県レッドデータブック掲載種の保護及びその生息環境の保全」についての協定、調査等、保全対策の実施状況について記載すること。

(※平成21年4月1日追加)

(2) 緑化計画

以下の緑化計画書により説明すること。

緑化計画書

1 概要

事業施行にあたり、自然環境保全に対する基本的な考え方及び緑化計画の要点を簡潔に説明すること。

2 表土の利用

表土量	客土等緑化工への利用数量	残量	備考
m ³	m ³	m ³	残土の処理方法などを記入すること。

3 残置森林、造成森林、造成緑地等の管理方法

(1)管理体制

(管理責任者名等を記入すること。)

(2)管理方法

直営、委託、請負の別及び下刈り、間伐、病虫害防除、樹木の手入れ、芝刈等の保育の内容を具体的に記載すること。

4 緑化場所別一覧表

緑化計画については、建物周辺、幹線道路の緑地帯、法面及び駐車場等具体的に記入し、緑化計画図の番号と一致させること。

(1)残置森林

緑化場所										計		
面積		m ²		m ²		m ²		m ²		m ²		
補植内容	区分	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種			
	高木	植栽時の樹高 3.0m以上										
		植栽時の樹高 1.5m～3.0m										
		植栽時の樹高 0.5m～1.5m										
		植栽時の樹高 0.5m未満										
	低木	植栽時の樹高 0.5m以上										
		植栽時の樹高 0.5m未満										
	合計		本		本		本		本			本
	備考											

(注)1 高木とは、成木に達したときの樹高が4m以上の樹木をいう。

2 補植しない場合、補植内容欄の記入は必要ない。

3 15年生以下の森林は造成森林として扱う。

(2) 造成森林

緑化場所									計	
面積		m ²		m ²		m ²		m ²		
植栽内容	区分	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	
	高木	植栽時の樹高 3.0m以上								
		植栽時の樹高 1.5m～3.0m								
		植栽時の樹高 0.5m～1.5m								
		植栽時の樹高 0.5m未満								
		計	本		本		本		本	
	密度	/100m ²		/100m ²		/100m ²		/100m ²		
	低木	植栽時の樹高 0.5m以上								
		植栽時の樹高 0.5m未満								
		計	本		本		本		本	
張芝、種子吹付等		m ²		m ²		m ²		m ²		
備考										

(3) 造成緑地

緑化場所								計		
面積		m ²		m ²		m ²		m ²		
植栽内容	区分	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	
	低木	植栽時の樹高 0.5m以上								
		植栽時の樹高 0.5m未満								
	計	本		本		本		本		
	張芝、種子吹付等		m ²		m ²		m ²		m ²	
備考										

16 跡地整備計画

- (1) 採取後の掘削面(高さ又は深さ・勾配・小段の高さ)
- (2) 採取跡地の土砂等の崩壊防止方法
- (3) 採取跡地の自然環境復元の方法
- (4) 採取跡地の利用計画

17 管理体制

- (1) 砂利業務責任者の住所
- (2) 砂利業務責任者の氏名
- (3) 連絡先

18 収支計画及び資金計画

19 その他特記事項及び参考となる事項

関係機関、利害関係者との協議書等、地権者の同意

20 業務経歴表(別紙5)

法人登記事項証明書、定款、法令による資格証の写し及び申請時直近の決算報告書を添付すること。

第4 土石採取事業に係る土地利用計画書の添付図面等

作成する計画図は、全て実測平面図を基に作成すること。

測点基準杭は図面に図示すること。

1 採取地位置図(縮尺50,000分の1以上)

搬出先及び搬出経路を図示し、路線名も明示すること。

2 土地利用現況図(縮尺 5,000分の1以上)

採取地及び周辺の土地利用現況を示すこと。

なお、第2の2によること。

3 計画平面図(縮尺 500分の1以上)

第2の3にならい作成することとし、施行区域・掘削の方向・ベンチの計画・場内搬出経路・流水方向・流末処理及び防災対策等を明示すること。

4 公図写

第2の4によること。

5 現況写真

採取地の全景を表すカラー写真

6 現存植生図

第2の6によること。

7 緑化計画平面図兼跡地利用計画平面図

第2の7によること。

8 現況の縦断面図

縦断面図は、等高線に平行に設けた基準線とし、採取後の計画縦断をも図示すること。

9 現況の横断面図

横断面図は、基準線に直角方向に作成することとし、採取後の計画横断をも図示すること。

10 法面保護工法面図

11 防災施設構造図

12 その他市長が必要と認める図面

[備考]

- 1 採取計画に係る平面図、横断図、縦断図及び防災施設構造図等については、採取期別ごとの計画がわかるように図示すること。